

先導的な地域医療の活性化（ライフイノベーション）総合特区

[指定：平成24年7月、認定：平成26年3月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(5+4.7)/2=4.9$

4.9

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	医師不足対策の推進	122%	5
2	糖尿病対策の推進	124%	5
3	外国人宿泊者数	140%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値

$(5 \times 3 + 4 \times 0 + 3 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 3 = 5$

5.0

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
 (例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.7

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 $(4+3.6+3.8)/3=3.8$

3.8

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

4.0

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.6

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

3.8

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.0

- ・全体の事業進捗状況は良好であり、一定の成果も得られていると評価できる。地域拠点の整備や医療従事者養成により、医療の地域偏在の解消に向けて順調に進んでいる。
- ・多彩な寄附講座の運営を行い医師の育成や派遣を着実にやっている。ただし、寄附講座や修学資金の貸与の効果と評価には長期間を要すると思われる。
- ・糖尿病克服の徳島モデルについては、「糖尿病連携手帳の活用」、「栄養指導導入」など実践的な取組で効果が期待できるが、何が「徳島ならでは」の方策であり、それが糖尿病患者数の減少に寄与していることを検証する必要がある。
- ・糖尿病対策については、重症化予防に対する効果の調査としてNDB(レセプト情報・特定健診等情報データベース)等のデータを用いた分析を行うことができないだろうか。
- ・特区としての先行プログラムが、代替システムや制度化等で役割を達成するなかで、事業全体の重点化や新たな展開を見出すための企画力が求められている。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.0

総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算 $(4.9+3.8+4 \times 2) \div 4 = 4.2$

4.2

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。